

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 上位の施策名称 | 施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保 |
|---------|-----------------|

1. 事務事業の目的・概要

|          |             |      |              |
|----------|-------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 医療政策課長 家本 賢 | 電話番号 | 0852-22-6252 |
|----------|-------------|------|--------------|

|         |  |                             |  |
|---------|--|-----------------------------|--|
| 事務事業の名称 | 医療機関の機能充実  |                             |  |
| 目的      | (1) 対象   | 医療機関                        |  |
|         | (2) 意図   | 各地域で中核的役割を担う医療機関の医療機能を確保する。 |  |
| 事業概要    | 各医療機関における医療機能の確保・充実に図るため、医療機関等に補助金を交付し、地域に必要な医療機能の強化を図る。 |                             |  |

2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名  | 式・定義      | 年度      | 23年度   | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度  | 単位    |
|------------|------|-----------|---------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
|            |      |           | 救急告示病院数 | 目標値    |        | 24.00  | 24.00  | 24.00 |       |
|            |      |           | 実績値     | 24.00  | 24.00  | 24.00  | 25.00  |       |       |
|            |      |           | 達成率     |        | 100.00 | 100.00 | 104.20 |       | %     |
| 指標名        | 式・定義 | 年度        | 23年度    | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 単位    |       |
|            |      | 地域医療拠点病院数 | 目標値     |        | 21.00  | 21.00  | 21.00  |       | 21.00 |
|            |      | 実績値       | 21.00   | 21.00  | 21.00  | 21.00  |        |       |       |
|            |      | 達成率       |         | 100.00 | 100.00 | 100.00 |        | %     |       |

3. 事業費

|             | 26年度実績  | 27年度計画  |
|-------------|---------|---------|
| 事業費(b) (千円) | 172,652 | 723,754 |
| うち一般財源(千円)  | 64,241  | 258,962 |

4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

救急告示病院や、（無医地区等での巡回診療や医師・看護師等の派遣など地域住民の医療確保を目的とする）地域医療拠点病院については、現状維持を達成している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

医療機関に補助金を交付し、地域に必要な医療機能の確保・強化を行った。  
 ・へき地診療所の設備整備 6カ所  
 ・過疎地域における産科医療機関の設備整備 1カ所  
 ・地域の中核病院の機能充実のための設備整備 7カ所

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
医療機能を維持していくために必要な整備について各医療機関から要望が多数寄せられている。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
救急告示病院や地域医療拠点病院をはじめとする医療機能を維持していくためには、医療機器の充実や経過年数・老朽度を勘案した更新が常に必要なため。
- ③原因を解消するための「課題」  
限られた予算において対応していく必要があること。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

限りある予算の中で、地域医療を維持・確保していくという観点で整備内容の審査を行い、優先度の高い整備から順番に補助を行っていく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）